



白神アロマ研究所が開発した「縄文アロマ」や土偶ステッカー

縄文の香り 本県の思い出に

白神山地周辺の植物を材料に精油（アロマオイル）の製造を手がけている「白神アロマ研究所」（鯨ヶ沢町、永井雄人所長）が、縄文時代をイメージした「縄文アロマ」を完成させた。スキの端材を原料に使用するなど、縄文時代と同じ自然循環型を志向している。

縄文アロマは、縄文世界を象徴するものとして「土」と「火」の2種類作成した。「土」（3080円、税込み、木製皿付き）は広々とした大地をイメージさせるすがすがしい香り。「火」（2860円、同はエネルギーに満ちあふれるような力強い香りに仕上げた。

永井所長が親交のある岡田康博・三内丸山遺跡センター所長から「縄文時

白神研(鯨ヶ沢)アロマ開発

代にもスキが生えていた」と聞き、ベースをスキに決定。柱材などを取った後に捨てられるような端材を蒸留し、精油を抽出している。永井所長は「香りは記憶と結びつく。本県を訪れた楽しい思い出として持ち帰り、香りをかぎながらまた青森に行きたいと思ってもらえたら」と話している。

同研究所はほかに、スキやクリの木を使った「縄文草木染め」のスカートや、児童生徒のお土産用に土偶をモチーフにしたステッカーも作成した。

一部の土産店のほか同研究所ウェブサイトでも取り扱っている。問い合わせは同研究所（電話0173-7057）。（行方知代）

5月3日（旧4月3日） 火曜日（日刊）

2022年（令和4年）

5月3日

火曜日

憲法記念日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

無料アプリ



速報が届く



スマホサイト
検索は「ウェブ東奥」



©東奥日報社 2022
〒030-0180
青森市第二問屋町3丁目1番89号